

1. 件名：公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの訓練実施結果報告書（案）の概要説明について

2. 日時：令和3年2月18日（木）15時00分～16時30分

3. 場所：茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室

4. 出席者：

原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所

関谷原子力防災専門官、宮下上席放射線防災専門官

公益財団法人核物質管理センター（以下「核管センター」という。）

東海保障措置センター

課長代理、技術参事

5. 要旨

核管センターより、令和2年12月8日（火）午後に実施した総合防災訓練の訓練実施結果報告書（案）の説明を受けた。

本訓練は、地震の発生を起因として、新分析棟のグローブボックスの廃棄フィルターが損傷して放射性物質が放出し、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力の向上を目的として実施された。

昨年度の総合防災訓練での検討事項に関して有効な改善策を案出し、事前に教育や個別訓練を行い、本年度の総合防災訓練においては、防災組織が有効に機能し、円滑に活動が行われたことが確認された。

特に、事故対策本部の立ち上げ時間の短縮化、放射性物質の異常放出継続時において最も効果的な応急措置を迅速に採用することに関して、改善がはかられていた。

6. その他

配付資料なし。